

平成26年度
教育委員会事務の点検及び評価報告書

(平成25年度事務事業対象)

平成26年9月
長門市教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会の活動状況	2
教育委員会の活動状況について	2
教育委員会事務の点検及び評価制度	5
1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価の実施について	5
2 長門市教育委員会の権限に属する事務の 管理及び執行の状況の点検及び評価について	5
3 点検及び評価の対象事業について	8
4 有識者の総括的な意見	10
5 各事務事業の点検及び評価結果	11

はじめに

長門市教育委員会では、約60年ぶりに改正された教育基本法において、「国の計画を参酌し、地域の実情に応じて計画を策定するよう努めなければならない」とされたことを受け、平成24年度から5年間の「長門市総合計画・後期基本計画」に連動させた長門市教育振興基本計画を策定しました。

この計画は、現行の学校教育や社会教育の取り組みを再構築し、長門市における教育振興に必要な施策を体系化しています。そして、基本理念を「生涯を通じて自らを磨き・高め、連携して「知」をはぐくむ」とし、教育をめぐる学校・家庭・地域・行政の各主体が「横の連携」を強化し、学校での教育段階はもとより、生涯を通じて自らを磨き、高めていく「縦の接続」を重視することで、合併後の本市の課題であるコミュニティの再生も併せて図っていくものとしています。

また、この計画に基づき、毎年度、教育施策方針を策定し、教育行政を推進しているところです。

一方、昨今の地方教育行政を取り巻く環境は、教育基本法の改正に始まり、学習指導要領の改訂、教育における地方分権の推進、そして教育委員会の責任体制の明確化など、大きく変化しようとしています。

このような中、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）の一部改正により、平成20年度からすべての教育委員会は、「毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならない。」こととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が実施した平成25年度事務事業のうち、主要な事務事業を対象に教育委員会自らが点検及び評価を行い、学識経験者等の意見をいただいで作成したものです。

教育委員会の活動状況

教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の開催状況

教育委員会の会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて臨時会を開催することとしています。

- ①定例会・・・・・・・・・・12回（原則として毎月第4火曜日）
- ②臨時会・・・・・・・・・・1回（随時）

(2) 教育委員会での審議及び報告

教育委員会の会議では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める事務（同法第26条及び「長門市教育委員会所管事務委任規則」の規定に基づき、教育長に委任された事務を含む。）について、議案審議及び報告等を行いました。

【附議事件等】（平成25年4月～平成26年3月）

区分	内 容	件数
議 案	教育行政の運営に関する一般方針を決定すること	3
	規則及び規程の制定または改廃に関すること	4
	議会の議決を経るべき事件の議案に関すること	5
	学校その他の教育機関の設置又は廃止に関すること	—
	人事に関すること	6
	附属機関等の委員等の委嘱等に関すること	8
	通学区域に関すること	—
	県費負担教職員の任免その他の進退の内申に関すること	—
	その他	1
	選 挙	委員長の選挙について
指 定	委員長の職務代理者の指定について	1
報 告		19
協 議		8

教育委員会議の活性化のために、次のことに継続し取り組みました。

- ①会議録の承認・・・教育委員及び事務局職員の共通認識及び発言内容の確認のために、委員会で承認を受ける。
- ②教育長からの報告・・・各課からの報告のみでなく、教育長から諸会議等の出席に伴う報告及び最新情報の提供を受ける。
- ③意見交換の実施・・・市内外での問題をタイムリーに意見交換する。

(3) 教育委員の活動

教育委員の各種行事への参加状況は次のとおりです。

① 幼稚園・小中学校計画訪問

月日	学校名	月日	学校名	月日	学校名
5/15	三隅中学校	5/22	通小学校	5/24	向陽小学校
5/27	神田小学校	5/28	仙崎小学校	6/24	日置小学校
6/25	深川中学校	6/26	日置中学校	6/27	菱海中学校
7/2	深川小学校	7/3	向津具小学校	7/4	浅田小学校
7/8	宗頭幼稚園	7/9	俵山中学校	7/10	仙崎中学校
11/6	俵山小学校	11/13	明倫小学校	11/15	油谷小学校

② 研修会等

- ・山口県都市教育長会議 平成25年4月15日
- ・山口県市教育委員会協議会総会 平成25年4月15日
- ・山口県市町教育委員会委員研修会議 平成25年4月15日
- ・全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会旭川大会
平成25年5月29日～6月1日
- ・長門市小学校長会自主研修会 平成25年6月11日
- ・長門市中学校長会自主研修会 平成25年6月12日
- ・夏季山口県都市教育長会議及び山口県市教育委員会協議会研修会
平成25年7月11日～12日

- ・山口県市教育委員会協議会研修会 平成25年7月12日
- ・県、市町教育委員会教育長意見交換会
「ともに一ティング2013」 平成25年7月16日
- ・全国コミュニティ・スクール研究大会 in 京都
平成25年7月30日
- ・中国地区都市教育長会定期総会並びに研究協議会
平成25年10月17日～18日
- ・教育委員研修会 平成26年1月14日

③ 式典

- ・長門市立小学校入学式 平成25年4月8日
- ・長門市立中学校入学式 平成25年4月8日
- ・長門市成人式 平成26年1月3日
- ・長門市立小学校卒業証書授与式 平成26年3月20日
- ・長門市立中学校卒業証書授与式 平成26年3月8日

教育委員会事務の点検及び評価制度

1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

平成18年12月の教育基本法の改正と平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第27条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 長門市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(1) 点検及び評価の目的

点検及び評価は、市民に対する行政の説明責任を果たすことによって、教育行政に対する市民の理解と信頼性の向上を図るとともに、今後重点化を図らなければならない分野を明確にすることによって、市民が求める質の高い教育を提供していくことを目的としています。

(2) 点検及び評価の対象

① 対象期間

平成25年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

② 対象事務

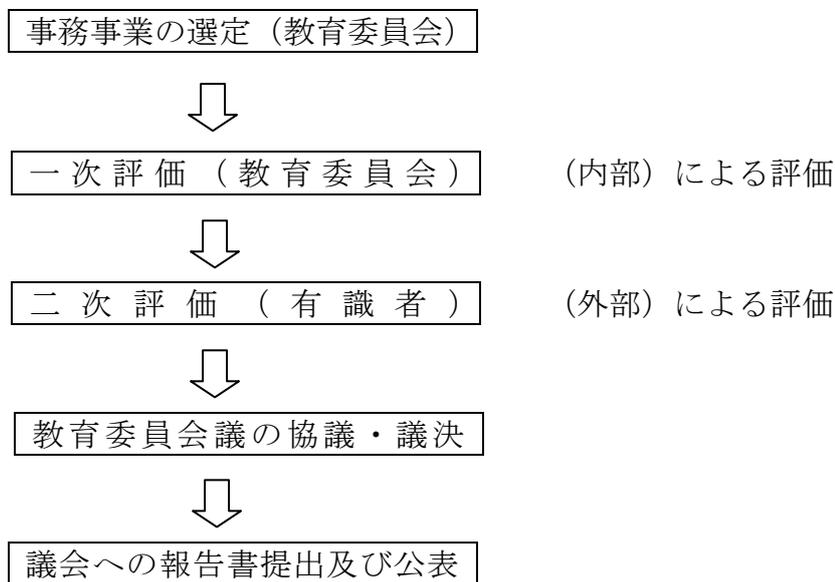
地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定されている教育委員会の権限に属する事務（市長部局において補助執行している事務を含む。）

及び市長の権限に属する事務のうち教育委員会事務局において補助執行している事務

(3) 点検及び評価の実施方法

教育振興基本計画に定める基本理念と基本目標に基づき、具体的かつ総合的に事業を進めるため策定した「平成25年度長門市教育施策方針」に定める施策に関する事務事業ごとに活動状況を点検し、これを評価する方法により実施しました。

(4) 点検及び評価の流れ



(5) 有識者の知見の活用について

事務事業の点検及び評価の客観性を確保し、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、事務事業の点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置き、教育委員会が行った事務事業の点検及び評価の結果についてご意見をいただきました。

有識者は次のとおりです。

- ・岡崎 繁男（元中学校長）
- ・中野キクエ（元小学校長）
- ・山本 玲子（書道家）
- ・早川 修（長門市PTA連合会副会長）
- ・荻 隆宣（前長門市PTA連合会副会長）

長門市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価
実施要綱

平成22年4月1日
教育委員会要綱第4号

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号以下「法」という。)第27条第1項の規定により行う教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検及び評価」という。)について、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象は、長門市教育委員会教育行政施策方針に定められた施策を推進する事務事業のうちから、教育委員会が選択したもの(以下「事務事業」という。)とする。

(点検及び評価の実施)

第3条 教育委員会は、当該事務事業を企画立案し遂行する立場から、毎年度、事業の必要性、効率性、有効性その他の事項を視点として、点検及び評価を行う。

(点検及び評価に関する有識者)

第4条 点検及び評価を行うにあたり、客観性を確保するため、事務事業の点検及び評価に関する有識者(以下「有識者」という。)を置き、教育に関し学識経験を有する者等の知見の活用を図る。

2 有識者は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 有識者は5人以内とし、教育に関し学識経験を有する者、教育に関し優れた識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。

4 有識者の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の者の任期は、前任者の残任期間とする。

5 有識者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(市議会への報告等)

第5条 点検及び評価の結果は、毎年市議会に報告するものとする。

2 前項の報告の後に、点検及び評価の結果を市民に対し公表するものとする。

(補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する

3 点検及び評価の対象事業について

基本理念	基本目標	施策の課題	事務事業	番号
生涯を通じて自らを磨き・高め、連携して「知」をはぐくむ	安全・安心な教育を確保するとともに、教育環境を整備します	安全・安心な教育を支える環境の整備	学校施設の耐震化事業	1
			油谷小学校改築事業	2
			学校統廃合事業	3
			学校給食センター運営管理事業	4
			通学支援事業	5
		質の高い教育を支える環境の整備	学校教育の情報化事業	6
			長門市教育研究大会事業	7
		地域で子どもたちを育てる環境の整備	コミュニティ・スクール事業	8
			地域協育ネット事業	9
			家庭教育支援事業	10
	子どもたちの個性を尊重しつつ能力を伸ばし、生きる力を育成します	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成	「確かな学力」育成サポート事業	11
			小中一貫教育の推進事業	12
			研究指定校補助事業	13
			防災教育事業	14
			国際交流（海外派遣）事業	15
		規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり	金子みすゞ児童作品 コンクール事業	16
			教育支援センター事業	17
			いじめ問題に係る 教育相談事業	18
		特別なニーズに対応した教育の推進	特別支援教育の充実事業	19
			就学指導委員会事業	20
			夏季教育研修講座事業	21

基本理念	基本目標	施策の課題	事務事業	番号
生涯を通じて自らを磨き・高め、連携して「知」をはぐくむ	社会全体で、生涯学習の理念に基づく取組を推進します	いつでも、どこでも 学べる機会の充実	生涯学習の推進事業	—
			成人式開催事業	22
			公民館指定管理事業	23
			図書館の充実事業	24
			婦人団体活動支援事業	25
			青少年健全育成団体支援事業	26
			人権教育講座開設事業	27
			人権教育啓発推進事業	28
			生涯スポーツの推進事業	—
			我がまちスポーツ推進事業	29
			学校体育施設開放事業	30
			ニュースポーツ等 指導者研修事業	31
			スポーツ教室・健康医学 講習会開催事業	32
			長門市体育協会補助金事業	33
		学校・家庭・地域の 連携を強化し、 学習成果を生かす 協働の推進	地域協育ネット事業（再掲）	—
			放課後子ども教室推進事業	34
		次世代への 地域文化の継承	文化財の保護・活用事業	35
地域文化の継承事業	36			

4 有識者の総括的な意見

有識者からは、教育委員会が行った事務事業の点検及び評価の結果だけでなく、教育行政全般について、次のとおりご意見をいただきました。

今回の点検及び評価が、教育行政に対する市民の理解と信頼性の向上、質の高い教育を提供するという目的を達成できるよう、今後も改善しながら事務事業を執行していきます。

【報告書について】

- ・教育振興基本計画の基本理念及び基本目標に基づいて、事業概要、予算執行及び取組状況等がまとめてあり、読みやすい報告書になっている。基本計画そのものの見直しが必要なのではないだろうか。
- ・目標を上回った事業については、その根拠を明示してあるとよい。
- ・資料が少ないため、点検及び評価が難しい。予算及び決算の数字はもう少し詳しくしてもよいと思う。

【教育行政について】

- ・厳しい財政状況であるが、教育委員会が「横の連携」のリーダーシップを発揮し、豊かな長門の人づくり、まちづくりが進むよう期待している。
- ・施策の課題を踏まえた課題設定がなされ、各事業が円滑かつ真摯に進められてきた。また、予算の執行率が50%を下回る事業もあるが、一定の効果は認められる。
- ・教育委員会が掲げる学校や家庭、地域、行政の「横の連携」の強化にあたり、教育委員会の先見性ある指導力の発揮とともに、生涯を通して自らを磨き高めていく「縦の接続」の実現に向けた熱き施策と事業を期待する。
- ・教育委員会の仕事が多岐にわたる事業を展開されている苦勞がよく分かった。
- ・どの事業もとても大切な事業だが、常に無駄なものがないかの点検は必要。また、継続事業だけでなく、必要な新規事業についても立案してほしい。
- ・学校の統廃合については、「行政の経済的側面」から説明された方がよいのではないか。「小規模校を経済的に維持できるほど財政収入がない」と説明された方が、統廃合される側は余程納得できるのではないか。それが不可能なら、小規模校のマイナスイメージを作り上げ、拡散するような事業概要にならない配慮がなされるよう検討していただきたい。

5 各事務事業の点検及び評価結果

①施策の課題

施策の課題	取 組 状 況	番号
安全・安心な教育を支える環境の整備	長門市学校施設整備計画に基づき、安全で安心な教育環境整備を進めており、校舎の改築、耐震補強工事等の実施により、平成 27 年度末の耐震化率 100%（完了）を目指す。	1-5
質の高い教育を支える環境の整備	平成 23 年度から計画的に整備を進めてきた教務用パソコンについては、平成 25 年度をもって完了した。また、教育研究大会については、学校教育基本方針の定着と教職員が研究交流を推進する場であるが、学校運営協議会及び保護者、市民にも広く呼びかけ、協働意識を高める場ともしたい。	6-7
地域で子どもたちを育てる環境の整備	「地域協育ネット」の推進により、地域総ぐるみで子どもを育てる気運が高まり、地域活性化と地域住民の生きがいがいづくりにつながっている。また、家庭教育学級の研修・交流により、学級活動の推進を図っている。	8-10
知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成	学力向上のため、校種間連携と授業改善等を柱に各校の取組を推進するとともに、有効な手立てを市内全体で共有している。	11-15
規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり	課題のある子どもたちへの対応や豊かな情操を養う教育活動を展開している。あわせて、自分らしい生き方を実現するための力の育成に努めている。	16-18
特別なニーズに対応した教育の推進	関係機関と連携し専門家等の意見を踏まえ、早期からのよりよい就学に努めている。また、可能な限り通常の学級で支援を要する子どもたちへの対応を行っている。	19-21
いつでも、どこでも学べる機会の充実	人権教育セミナーをはじめ、スポーツ教室の開催など様々な学びの機会を提供するとともに、図書館・公民館事業の充実により、市民の生涯学習の推進を図っている。また、スポーツを普及・指導する団体等を活用し、誰もがスポーツを楽しんだり、学んだりできる環境の整備を行っている。	22-33
学校・家庭・地域の連携を強化し、学習成果を生かす協働の推進	市内小規模小学校において放課後子ども教室を開設し、放課後の子どもの居場所づくりに取り組むとともに、学校・家庭・地域が連携し地域児童の健全育成を推進している。	34
次世代への地域文化の継承	企画展（萩焼展）の開催や学校への出前講座などに取り組み、市民や子どもたちの地域文化に対する理解を進めるとともに、文化財の保護や伝承について取り組んでいる。	35-36

②各事務事業

番 号	1	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校施設の耐震化事業		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	平成 19 年 3 月に策定した長門市学校施設整備計画(学校施設耐震化推進計画)に基づき、耐震性の低い校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を行い、児童生徒の安全かつ安心な学習環境の整備を図る。		
予 算 額 (決 算 額)	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 (当初)
	繰越明許予算 172,353,000 円 (167,869,375 円) 現年度予算 7,855,050 円 (7,855,050 円)	49,533,000 円 (32,523,120 円) 地域の元気臨時交付金事業 15,788,000 円 (11,665,500 円)	繰越明許予算 13,916,700 円 現年度予算 447,000,000 円
執 行 率	97.5%	67.6%	
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成 25 年度においては、耐震性のない全ての建物について耐震補強等の調査及び設計業務を実施した。また、臨時交付金を活用し、菱海中学校技術棟の耐震工事を前倒しし実施した。なお、三隅中学校特別教室棟設計業務については、関係者で協議・検討を深め、より充実したものとするため、翌年度に繰り越し実施することとした。</p> <p>【平成 25 年度事業実績】</p> <p>①小学校施設耐震化事業 (支出額 13,310,850 円) 明倫小学校校舎耐震補強設計業務委託 13,310,850 円</p> <p>②中学校施設耐震化事業 (支出額 19,212,270 円) 深川中学校校舎耐震補強設計業務委託 16,264,500 円 三隅中学校特別教室棟 耐力度調査業務委託 383,250 円 建設用地地質調査業務委託 1,922,550 円 需用費 42,000 円 菱海中学校技術棟 耐震補強工事实施設設計業務委託 599,970 円</p> <p>地域の元気臨時交付金事業 ②中学校施設耐震化事業 (支出額 11,665,500 円) 菱海中学校技術棟 耐震補強工事監理業務委託 640,500 円 耐震補強工事 11,025,000 円</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>学校施設の耐震化については、学校施設耐震化推進計画を前倒しし、I_s 値=0.3 未満の施設から優先的・年次的に耐震化への取組を進めてきたところである。</p> <p>本市における公立小中学校の耐震化率は、平成 25 年度当初が 77.6%、26 年度が 79.6%と推移しており、国の方針である平成 27 年度末の耐震化率 100% (完了) に向けて、今後も引き続き耐震化に取り組んでいく。</p> <p>平成 26 年度においては、明倫小学校の管理棟及び教室棟、深川中学校の校舎棟の耐震補強工事等を実施する。また、非構造部材の耐震化への取組として吊天井落下防止工事に係る設計業務に着手する。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 学校施設の耐震化事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的に取組が進められている。平成 27 年度末の完了に向けて、耐震補強未実施の施設に係る安全管理にも十分配慮していただきたい。 ・ 速やかに行ってほしい。 ・ 菱海中学校技術棟の耐震補強工事を前倒し実施は高評価。平成 27 年度完了に向けて取組を継続してほしい。
----------------	--

※1 I_s 値 (構造耐震指標) . . . 耐震診断により建物の耐震性能を示す指標で、 I_s 値 0.6 以上で耐震性能を満たすとされていますが、文部科学省は学校では 0.7 以上に補強するように求めています。 I_s 値 0.3 未満は大規模な地震 (一般的に震度 6 強程度) により倒壊の可能性が高い建物とされています。

番 号	2	主 管 課	教育総務課																																
事 業 名	油谷小学校改築事業																																		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備																																		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了																																		
事業の概要 及び目標	<p>油谷小学校の校舎及び屋内運動場は、築後 50 年近くが経過し建物の随所が著しく老朽化している。耐力度も低下し耐震基準を満たしていないため、全面改築を行い、安全・安心な学習環境の整備を図る。</p> <p>【計画概要】 児童数：130 人 学級数：普通 6 学級（6 学年×1 学級）／ 特別支援 2 学級 面積：校舎棟（2 階建） 3,197 m² 屋内運動場 986 m²</p> <p>平成 25 年度から順次工事に着手し、十分な耐震性を有する安全で安心な学校として、また、市有木材を活用した木質化に積極的に取り組む等、地域に開かれた環境にやさしい学校として整備を進めていく。</p>																																		
予 算 額 (決算額)	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度（当初）																																
	繰越明許予算 11,260,000 円 (11,260,000 円) 現年度予算 50,259,000 円 (48,489,080 円)	371,006,000 円 (366,892,404 円)	繰越明許予算 3,169,866 円 現年度予算 987,791,000 円																																
執 行 率	97.1%	98.9%																																	
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標を下回る																																		
	<p>【平成 25 年度事業実績／25～26 年度債務負担行為設定分】</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>支出額</th> <th>契約額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校舎建築工事</td> <td>159,468,750 円</td> <td>(590,625,000 円)</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場・プール建築工事</td> <td>78,983,100 円</td> <td>(292,530,000 円)</td> </tr> <tr> <td>電気設備工事</td> <td>11,867,310 円</td> <td>(94,185,000 円)</td> </tr> <tr> <td>空調設備工事</td> <td>11,498,760 円</td> <td>(70,980,000 円)</td> </tr> <tr> <td>給排水衛生設備工事</td> <td>8,470,980 円</td> <td>(52,290,000 円)</td> </tr> <tr> <td>工事監理業務</td> <td>8,983,000 円</td> <td>(20,370,000 円)</td> </tr> <tr> <td>原木製材・保管・加工業務委託</td> <td>14,193,889 円</td> <td>(21,189,126 円)</td> </tr> <tr> <td>開発行為施工監理業務委託</td> <td>535,500 円</td> <td>(1,785,000 円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【現年度分】</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>支出額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路改良、法面改修、プール解体等工事 9 件</td> <td>71,734,950 円</td> </tr> <tr> <td>建築確認申請手数料、移転等補償費</td> <td>1,156,165 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>当初計画では、本体工事の年度内進捗率を 44%と見込んでいたが、発注後の請負業者との工程調整に伴い、実質 22%の進捗となった。</p>				支出額	契約額	校舎建築工事	159,468,750 円	(590,625,000 円)	屋内運動場・プール建築工事	78,983,100 円	(292,530,000 円)	電気設備工事	11,867,310 円	(94,185,000 円)	空調設備工事	11,498,760 円	(70,980,000 円)	給排水衛生設備工事	8,470,980 円	(52,290,000 円)	工事監理業務	8,983,000 円	(20,370,000 円)	原木製材・保管・加工業務委託	14,193,889 円	(21,189,126 円)	開発行為施工監理業務委託	535,500 円	(1,785,000 円)		支出額	道路改良、法面改修、プール解体等工事 9 件	71,734,950 円	建築確認申請手数料、移転等補償費
	支出額	契約額																																	
校舎建築工事	159,468,750 円	(590,625,000 円)																																	
屋内運動場・プール建築工事	78,983,100 円	(292,530,000 円)																																	
電気設備工事	11,867,310 円	(94,185,000 円)																																	
空調設備工事	11,498,760 円	(70,980,000 円)																																	
給排水衛生設備工事	8,470,980 円	(52,290,000 円)																																	
工事監理業務	8,983,000 円	(20,370,000 円)																																	
原木製材・保管・加工業務委託	14,193,889 円	(21,189,126 円)																																	
開発行為施工監理業務委託	535,500 円	(1,785,000 円)																																	
	支出額																																		
道路改良、法面改修、プール解体等工事 9 件	71,734,950 円																																		
建築確認申請手数料、移転等補償費	1,156,165 円																																		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>既存校舎を使用しながらの工事に加え、狭小な敷地の中で多くの工事が同時に行われるため、学校、施工業者、教育委員会の三者で連絡調整を密に、常に児童の安全確保に努めるとともに、授業の進捗や主要な学校行事に支障が生じることのないよう配慮し、平成 27 年 7 月の事業完了に向けて、工程等監理に努めていく。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 油谷小学校改築事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新校舎で実践されるコミュニティ・スクールのビジョンを明確にし、準備が進められることを期待している。 ・新校舎における新しい教育に期待したい。 ・速やかに行ってほしい。 ・本体工事の年度内進捗率が当初 44%見込みから、実質 22%になっているのが気になるが、27 年 7 月完了に向け取り組んでいただきたい。
----------------	--

番 号	3	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校統廃合事業		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>学校の小規模化は、児童生徒の学校における人間関係の固定化、クラブ活動や学校行事等における多様な選択の制限等、教育環境として支障が生じることが想定されるため、平成19年2月策定の「長門市立小中学校適正配置方針」に基づき、統廃合により適正な教育環境が提供できる一定の学校規模の確保を図る。</p> <p>※俵山中学校の深川中学校への統合</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	0円 (0円)	0円 (0円)	0円
執 行 率	—	—	—
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>【H25年度実績】</p> <p>統廃合の時期を平成27年4月と示し、「俵山地区学校等のあり方検討委員会」や保護者との意見交換会等において継続し地元協議を行う中で、中学生に相応しい学習環境や今後保護者等と個別に踏み込んだ協議をしていくことについて理解が得られた。</p> <p>また、関係校による交流事業(合同授業)に着手し、保護者においては主体的に交流会が開催され情報交換等が行われた。</p> <p>4月 関係校及び各PTA総会にて方針説明 7/24 第1回俵山地区学校等のあり方検討委員会 10/18 校外学習 青海島/紫津浦でスケッチ(中学1年生) 12/9 合同授業(深川、向陽、俵山小の5、6年生) 1/25 深川中立志式を見学(中学1年生) 2/8 深川・俵山地区小中学校PTA交流会 3/17 第2回俵山地区学校等のあり方検討委員会</p> <p>平成25年度において、個別・具体的な協議を進めていく予定であったが、そこまでの進捗に至らなかった。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>教育委員会としては、市内全体の学習環境のバランス、年齢に応じた子どもの学びの可能性や、自主性を育む適正規模の学習環境の必要性を重視し、これまで過小規模校の統廃合に取り組んできた。</p> <p>平成 26 年度においては、保護者や俵山湯の家との個別協議を深め、諸課題への対応を具体的に提示し、子どもたちや保護者の不安を解消するとともに、地元協議の中心組織となる「あり方検討委員会」と協議・調整を図り、早期に俵山地域の統廃合に係るコンセンサスが得られるよう努めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 深川中学校耐震補強工事に着手～完了 ・ 交流事業の頻度を高め実施 ・ 通学等に係る具体的な協議（記念事業、制服等の購入） ・ 俵山湯の家に対する支援の具体化
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 学校統廃合事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者、俵山湯の家、地域との協議をしっかりと行い、拙速の統合にならぬようお願いしたい。 ・ 統廃合を進めるにあたって、地域住民の思いと保護者の願いとの隙間を地道に埋めていく作業が必要と思われる。「俵山湯の家」への支援とともに、きめ細かい配慮をしていただきたい。 ・ 将来的な長門市のまちづくり構想と学校の統廃合を結びつけて示してほしい。 ・ 統廃合を進めることを考え直す時期に来ているのではないかと思う。もう 20～30 年もすると長門市の全ての小中学校がなくなってしまうかねない。 ・ 統廃合時期とされる平成 27 年 4 月が明確でないことが気になる。地元の状況に配慮しながら進められたい。小規模校のマイナス面が強調され、議会等を通じて一般認識として広がることを十分考慮しなければならない。「みすゞ学園」、「コミュニティ・スクール」等、教育委員会が示し、目指す教育環境は小規模校にこそ実現しているのではないか。それを実現している小規模校でも十分「多様性は生まれている」と言える。得意、不得意に関わらず、学校に関係する全てのことを全員で負担しなければ成り立たない小規模校の方が能力開発に適している場合もある。 <p>教育は、「例えどのような環境下であっても、たくましく生き切ることができる者」を育てる場であってほしいと思う。</p>
----------------	---

番 号	4	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校給食センター運営管理事業		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>長門市学校給食運営方針に基づき、平成22年9月に開設した長門市学校給食センターを中心に、学校給食の衛生管理の向上と高質で安全・安心な給食の提供を図る。</p> <p>また、将来的な本市の学校給食施設の1センター化を検討する中で、段階的にその取組を進めていく。</p> <p>【施設】 長門市学校給食センター (2,100食/日) 対象：14校 ※配送業務直営 深川中学校調理場 (350食/日) 対象：1校 日置学校給食センター (300食/日) 対象：2校</p> <p>【会議等】 学校給食運営委員会 (長門市センター2回、日置2回)、 献立作成委員会 (11回)、物資選定委員会 (2回)</p>		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	202,680,000円 (199,006,500円)	207,134,000円 (203,030,098円)	215,554,000円
執 行 率	98.2%	98.0%	
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>【25年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食数 長門市学校給食センター 2,100食 日置学校給食センター 300食 深川中学校調理場 350食 ・平均給食日数 190日 ・給食費 現行、小学校245円、中学校280円をH26.4.1からの消費税率改定等に伴い、それぞれ10円の値上げについて検討し決定した。 ・事業 <ul style="list-style-type: none"> ア 食物アレルギーへの対応 <ul style="list-style-type: none"> ①除去食・代替食 長門市学校給食センター 38人 日置学校給食センター 8人 深川中学校調理場 3人 ②学校における食物アレルギー対応マニュアルを策定 イ 食に関する指導目標の推進 2名の栄養教諭と2名の学校栄養職員で17校を担当 ウ 地産地消の推進 人参、ジャガイモ、玉ねぎ、キャベツの4品 総使用量33,411kgのうち13,380kgを市内生産者から納入 地産地消率(23年度から横ばい) 県内産/66%、市内産/35% エ 施設見学会、試食会の開催 見学会6回150人 オ ながと食の日(毎月1回実施) カ 深川中学校調理場を長門市給食センターに統合(配膳室等改修) キ 長門市と下関市で「学校給食・くじら交流の日」を実施 H26.2.3 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>児童生徒の減少等に伴う給食事業の効率的、効果的な運営を図るため、学校給食施設の1センター化に向けて、深川中学校の給食調理場を平成25年度をもって長門市学校給食センターに統合した。</p> <p>当該センターにおいては、26年度からの食数増加に伴い、更なる衛生管理の徹底と作業効率を維持していくため、職員の業務意識の向上を図るとともに、創意工夫と日々の課題整理により安全で安心な給食の提供に努めていく。</p> <p>また、地産地消への取組は、収穫率の低い作物（ジャガイモ、人参）や新たな品種の作付面積の拡大に取り組む等、関係機関（県農林事務所・市農林課・JA長門大津・生産団体等）との連携により、栽培奨励に努めるとともに地場産食材の使用量増加を図る。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 学校給食センター運営管理事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心でおいしい給食の提供に、継続して取り組んでいただきたい。食に対する感謝の心を育てたい。 ・安全で安心な給食提供に向け、関係者の業務遂行への並々ならぬ努力がうかがえる。 ・1センター化の検討においては、トラブル等へのきめ細かい対応についても十分留意されたい。 ・給食に対する要求は年々複雑になっている。センターで働く方々の人数が適正であるかを考えていただきたい。もう少し増員してもよいのではないか。 ・地産地消の推進はすばらしい。品目が人参、ジャガイモ、玉ねぎ、キャベツの4種とあるが、取組の更なる拡充を願う。
----------------	---

番 号	5	主 管 課	教育総務課
事 業 名	通学支援事業		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>スクールバスを運行（旅客自動車運送事業所に委託し実施）し、学校統廃合により廃校となった小中学校の児童生徒の遠距離通学に係る条件緩和と登下校時の安全確保を図る。</p> <p>また、小学生については概ね4km以上、中学生については概ね6km以上通学距離のある児童生徒に対し、通学に要する費用等を補助し、自転車通学が認められている児童生徒については、ヘルメット購入費を補助する等の支援を行い、通学条件の緩和と保護者の負担軽減を図る。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 (当初)
	38,297,206 円 (37,232,637 円)	37,648,645 円 (36,617,586 円)	39,372,000 円
執 行 率	97.2%	97.3%	
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>【H25 年度実績】</p> <p>①スクールバス運行事業 ※事業費 34,709,120 円 上記事業費のうち、運行管理業務委託料（2社）は 28,986,300 円 青海島地区～仙崎小 23 人・仙崎中 19 人 運行台数 2 台 真木・渋木地区～深川小 18 人・深川中 6 人 運行台数 2 台 油谷各地区～油谷小 24 人・菱海中 21 人 運行台数 4 台 保護者、学校、受託業者、教育委員会の 4 者で定期的に運行協議会を開催し情報交換を行うことで、児童生徒の安全安心な移送を図っている。</p> <p>②その他通学支援 ※事業費 1,908,466 円 児童通学費等補助 1,664,966 円（交付対象 44 人） 自転車通学児童用ヘルメット購入費補助 0 円（〃 0 人） 生徒通学費等補助 110,000 円（〃 4 人） 自転車通学生徒用ヘルメット購入費補助 133,500 円（〃 89 人）</p>		

<p>課題と今後の取組</p>	<p>スクールバス運行管理業務については、業務価格の抑制及び地域雇用の安定確保という観点から、また、子ども達の安全・安心な移送のためには業者が度々替わるのは好ましくないとの保護者からの意見もあったことから、平成 25 年度から 3 年間の長期継続契約とした。</p> <p>通学支援に係る補助は、地区によって基準等に差異があるが、市町合併時にそのまま新市に引き継がれた旧市町において行われた学校統廃合の条件であるため、その取り扱いは難しい。</p> <p>通学費等補助及びスクールバスの利用による通学対象となる基準等については、児童生徒の通学事情を十分踏まえ、統一的な考えの下で、補助率や対象距離等の課題について引き続き慎重に検討していく。</p>
-----------------	--

〔事業名〕 通学支援事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育における通学の支援は、過去の経緯にこだわることなく市内全域平等となる基準の策定を検討してほしい。 ・地域性があるので、従来のやり方を一本化するのは時期が早いのではないか。校区ごとのきめ細かい対応を大切にされた方が良い。 ・統廃合時の条件に充分配慮しながらも、他地区との不公平感がなくなるように進めてほしい。
-------------	--

番 号	6	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校教育の情報化事業		
施 策 の 課 題	質の高い教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>小中学校の情報教育用パソコンを計画的に更新し、情報教育環境を充実させることにより、情報教育の向上と円滑な推進を図り、児童生徒の情報活用能力を育成する。</p> <p>また、各学校のコンピューター室における情報教育用パソコンの台数については、児童生徒一人について1台が整備済であるが、教職員の校務用パソコンについてはまだ完全に整備されていない。教職員のさらなる情報通信に関する指導力の向上と、校務の負担軽減を図るために、教職員一人1台のパソコン整備を計画的に進める。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 (当初)
	20,625,000 円 (20,622,294 円)	25,056,000 円 (25,054,134 円)	29,813,000 円
執 行 率	99.9%	99.9%	
評 価 (取 組 状 況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>【25年度実績】 生徒用パソコン (更新) 仙崎中学校 (32 台)、深川中学校 (35 台)、俵山中学校 (14 台)、 菱海中学校 (32 台) 教職員校務用パソコン (新規) 通小学校 (10 台)、仙崎小学校 (24 台)、向陽小学校 (11 台)、 俵山小学校 (12 台)、油谷小学校 (13 台)、向津具小学校 (10 台)、 仙崎中学校 (23 台)、深川中学校 (35 台)</p> <p>* 教務用パソコンについても、25年度をもって全校整備が完了した。 パソコン整備は、リース方式により概ね5年毎に機器の更新を行うことにより、経費負担の平準化に努めている。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>26年度においては、小学校4校の教育用パソコンの更新を行うこととしている。</p> <p>今後については、既存機器の計画的な更新、教員の機器活用による指導力の向上を図るとともに、他自治体の学校におけるICT環境の整備状況を注視しながら、電子黒板の配備増やタブレット端末の導入等を検討していく。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 学校教育の情報化事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代に対応したICT教育の推進に、今後も重点を置いて取り組んでいただきたい。 ・使用頻度の高い教務用が全校整備されたことにより事務の効率化、情報や資料の共有化が進むと思われる。 ・タブレット端末の導入を急いでほしい。 ・現在の状況とコストを考えると、今後はタブレット端末が主流になるだろう。導入の検討は早急に。
----------------	--

番 号	7	主 管 課	学校教育課
事 業 名	長門市教育研究大会事業		
施 策 の 課 題	質の高い教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>市内全小中学校教職員が研究交流するとともに、「開かれた学校づくり」、「生涯学習のまちづくり」の観点から、保護者や市民にも公開する研究大会を開催する。</p> <p>具体的には、個別課題による研究物の展示、各中学校ブロック（通・仙崎、深川、俵山、三隅、日置、油谷）における取組の発表とともに、本市が目指す「地域と共にある学校づくり」を推進するための講演を実施する。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	359,000 円 (254,980 円)	309,000 円 (285,169 円)	304,000 円
執 行 率	71.0%	92.3%	
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>市の学校教育の方向性を教職員全員はもとより学校運営協議会*1委員、学校支援ボランティア等の参加を得て再確認できた点で高く評価できる。小中連携の具体的な実践を中心としたブロック発表は、市民の方にも分かりやすいものであった。講演については、講師にあらかじめ長門市の実践資料を提供していたこともあり、下記演題のとおり長門市の目指す「共創・共育」の発想で学校づくり、まちづくりを推進していくための多くの示唆に富んだ内容であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内各小中学校から出品展示作品 54 作品 ・ブロック発表 俵山みすゞ学園 三隅みすゞ学園 <p>講演 『長門みすゞ学園』の更なる充実に向けて ～好循環を生み出す学校・家庭・地域のあり方～ 講師 千葉大学教育学部教授 天 笠 茂 氏 (参加者約300名)</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>「コミュニティ・スクール^{※2}を基盤とした小中一貫教育」の理念の共有、形態としての定着がなされた現況を踏まえ、今後、各みすゞ学園^{※3}ごとの特色を生かした教育活動の深化、充実に資する会の運営が求められる。学校運営協議会委員等にも更に呼びかけ、協働意識を高める場としたい。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 長門市教育研究大会事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何よりも、長門市の教職員であるという自覚と誇りをもつ研鑽の場であってほしい。長門みすゞ学園については、広報活動も必要だと考える。 ・市が目指す学校づくり、まちづくり推進上の示唆に富む講演を学校運営協議会委員や学校支援ボランティアの方々も交えて聞くことができたことが良かった。 ・みすゞ学園という名前に引かかる。みすゞにとらわれず、小中一貫教育に関しての理解を広めていただきたい。 ・研究大会事業そのものは素晴らしい取組である。それがコミュニティ・スクールの活性化に結びつくよう切に願う。
----------------	---

※1 学校運営協議会 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に規定される組織で、指定する学校の運営に関して協議する機関。

※2 コミュニティ・スクール 学校運営協議会を設置した学校。家庭・地域が学校の教育目標を共有しながら、共に学校を創る（共創）「地域と共にある学校」づくりを推進する。長門市では全ての学校がコミュニティ・スクールとなっている。

※3 みすゞ学園 地域の特性や子どもの実態を踏まえながら、市内6つの中学校区ごとに、共通の目標を設定し、小中学校9年間の一貫した教育を推進する枠組み（構想）。

番 号	8	主 管 課	学校教育課
事 業 名	コミュニティ・スクール事業		
施 策 の 課 題	地域で子どもたちを育てる環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>市内 17 小中学校全てに設置している学校運営協議会の目的は、「より質の高い学校づくりをめざすこと」と「在籍児童生徒の困り感・悩み感を共有し、その解消に努めること」である。</p> <p>研修を通して運営協議会委員のより資質の向上を図ることで、より質の高い学校づくりを目指す。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 (当初)
	100,000 円 (94,834 円)	586,000 円 (398,653 円)	443,000 円
執 行 率	94.8%	68.0%	
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>学校運営協議会の活性化及び学校運営協議会委員の資質向上、委員相互による情報交換を目的とした「学校運営協議会委員研修会」を開催した。</p> <p>○期 日 平成26年2月4日</p> <p>○会 場 長門市立深川小学校</p> <p>○内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会委員による熟議 (8グループ) <p>テーマ</p> <p>「より質の高い学校づくりに向けて学校運営協議会として大切にしたいこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導講話 <p>演 題 「コミュニティ・スクールの活性化に向けた学校運営協議会の在り方」</p> <p>講 師 学校と地域の融合教育研究会 会長 宮崎 稔 先生</p> <p>市内各校の学校運営協議会委員47名の参加があった。各地域の取組状況や課題等について話し合う機会を設定したり、宮崎先生のこれまでの実践から参考となる点を聞いたりすることができ、有意義な研修会となった。</p> <p>※宮崎稔先生…H26 県教委主催コミュニティ・スクール研修会 (6/14) 講師</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>○ 市内全小中学校 17 校をコミュニティ・スクールに指定し 3 年目を迎えた今、基盤形成期から定着期への移行を考えると、学校運営協議会での協議内容を学校教育の実働化へどうつなげていくかがポイントとなる。各みすゞ学園の取組状況を把握しながら、特に有効であると思われるみすゞ学園や学校の取組や工夫等を、積極的に他のみすゞ学園に情報提供していく。また、研修会を通して、学校運営協議会委員の資質向上を引き続き図っていききたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 コミュニティ・スクール事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深川小学校での委員研修会は評価できる。継続して取り組んでいただきたい。 ・ 学校運営協議会の設置により、それぞれに工夫して地域住民や保護者が参画した取組が行われている。運営協議会委員研修会による意見交換や研修が今後の活性化につながることを期待する。 ・ 地域で子どもを育てるという視点からは、継続している成果が感じられる。 ・ 学校運営協議会が形骸化しないように取り組んでもらいたい。 ・ 学校運営協議会委員研修会の参加者の多くは教職員で、それ以外の委員の方々（地域の方や保護者）の出席率がどの程度なのかが気になる。委員全体への啓蒙活動が必要だと感じる。
----------------	---

番 号	9	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	地域協育ネット事業		
施 策 の 課 題	地域で子どもたちを育てる環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>公民館を中心とした地域の多様な教育資源を教育現場で積極的に生かすため、社会教育団体等が行う地域活動への参加を通して子どもたちの体験活動を充実させている。</p> <p>中学校区を一まとまりとした、地域ぐるみで子どもを育む仕組みづくりを推進する。</p> <p>【目標】地域総ぐるみで子どもを育てることで、子どもたちの「生きる力」を育むとともに、地域住民の生きがいがいづくりにつなげる。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	204,098円 (204,098円)	245,200円 (239,728円)	166,000円
執 行 率	100.0%	97.8%	
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>指定協力校区（深川中学校区・俵山中学校区・菱海中学校区）において、公民館型の地域協育ネットにより、校内・校外支援を行い、学校・家庭・地域が連携した活動に取り組みされており、地域総ぐるみで子どもを育てる気運が高まり、地域の活性化にもつながっている。</p> <p>○指定協力校区 校内・校外支援実績</p> <p>深川中学校区 延べ 369日</p> <p>俵山中学校区 延べ 77日</p> <p>菱海中学校区 延べ 334日</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>指定協力校区での実践を参考に、公民館職員がコーディネーターとなる公民館型の地域協育ネットを、市内各中学校区において取り組む。</p> <p>また、各公民館において地域内の人材バンクを整理し、それぞれが連携できるよう取り組む。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 地域協育ネット事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館が学校と地域をつなぐコーディネーターとして地域ぐるみで子どもを育む仕組みづくりがなされる意義は大きい。学校からも実態や現状を踏まえた願いや思いを発信することが大事である。 ・市内全域で成果が上がることを期待している。周辺部が頑張っているようだ。 ・公民館が担う役割が多く大変だと思うが、地域の仕組みづくりは公民館がなくてはできないので、力を入れて取り組んでいただきたい。 ・教職員間での認識は高まっていると思うが、今後は「地域ぐるみ」という視点をより大切に、取組を進めてほしい。
----------------	--

番 号	10	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課	
事 業 名	家庭教育支援事業			
施 策 の 課 題	地域で子どもたちを育てる環境の整備			
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了
事業の概要 及び目標	<p>小・中学校及び保育園、幼稚園に家庭教育学級を開設し、学級運営に役立つ研修会や意見交換会の実施及び幼児期の学習支援、相談事業を実施している。</p> <p>【目標】家庭の教育機能の向上と児童の健全育成</p>			
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)	
	615,000円 (487,560円)	474,800円 (414,740円)	539,000円	
執 行 率	79.3%	87.4%		
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る			
	<p>各家庭教育学級では、学級生の確保や講座の内容について苦勞されながらも、市の補助基準に沿って確実に実施されているところである。</p> <p>また、幼稚園及び保育園については、事業に取り組みやすいよう25年度から補助金額を定額20,000円から事業規模に見合う10,000円に変更したところ、新たに保育園2園の開設があった。</p> <p>(小学校11校、中学校6校、幼稚園2園、保育園2園 実施)</p> <p>意見交換会や合同研修会など家庭教育学級生の学習会を開催したことにより、学級の運営について理解が高まり、高い成果が得られた。</p>			

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>毎年、交付申請等一連の手続きに学校の家庭教育担当者が苦慮されており、できるだけわかりやすい申請書や作成指導に努めていく。</p> <p>幼稚園及び保育園における学級開設を支援する。</p> <p>質の高い学級運営をしていただくために、必要に応じて個別指導や学級が運営する行事に家庭教育担当の社会教育指導員が積極的に参加し、学級（学校）との良好な関係を築く。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 家庭教育支援事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校就学前の子育て支援は非常に大切である。家庭教育学級の保育園開設に期待する。 ・家庭教育に係る保護者の学びの場であるとともに、率直な悩みを話し合える貴重な場でもある。参加しやすく質の高い学級運営となるよう学校と一体となつての支援を期待する。 ・保護者の仲間づくりをする中で、家庭教育の悩みや要望を、まずは引き出すことが必要だと思う。(幼・保レベルでの支援が必須) ・各家庭教育学級が行っている事業等を公開してほしい。 ・家庭教育学級の取組は重要だが、各家庭教育学級の現場では学級生獲得など苦勞をしている。学級生が少ないまま活動がスタートすると、学校全体としての取組につながらない。家庭教育学級の現状を把握し、資金だけではなく具体的なサポートもしてほしい。
----------------	---

番 号	1 1	主 管 課	学校教育課
事 業 名	「確かな学力」育成サポート事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>児童生徒の学力向上に向け、より質の高い授業を提供することは、教員にとって最も重要なことであり、そのための研修視察や研究会参加を通して研修を深めることは大変効果的である。</p> <p>市内全小中学校にこのような研修の機会を保障し、研修後授業を通して還元することにより、児童生徒の学力向上・定着を図る。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 (当初)
	961,000 円 (818,195 円)	1,390,000 円 (1,041,288 円)	1,400,000 円
執 行 率	8 5 . 1 %	7 4 . 9 %	
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>市内全小中学校から1名ずつ計17名が、学力向上に向けた研修視察を行い、各校の児童生徒の課題解決に向けた授業づくりを行っている。</p> <p>視察先 ・筑波大学付属小学校 ・国語教育全国大会(品川) ・山梨大学教育学部附属中 ・品川区立小中一貫校 ・奈良女子大学附属小 ・香川大学教育学部附属中 他</p> <p>視察を行った教員は、所属校の校内研修で報告をしたり、授業公開を行い校内研修で広めたりしながら還元方策を行った。</p> <p>また、学力向上プラン検討会では各校の教員が参加し、研修を深めながら自校の授業づくりの改善に役立っている。</p> <p>○1回目(5月17日) 演 題: 「全国学力・学習状況調査結果を生かした授業改善について」 指 導 者: 国立教育政策研究所 学力調査官 樺山 敏郎 先生</p> <p>○2回目(12月25日) 市内全小中学校から、教務主任や研修主任の教員が参加し、各校の取組状況を発表したり協議したりした。</p> <p>25年度末には、各校の授業実践をまとめた「長門市先進校視察をもとにした授業改善実践事例集」を作成し、各校に配布し、市内全体で実践を共有した。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人でも多くの教員が、研修視察を行うことができるように、校長会等で、偏りのないようお願いをする。研修視察後の実践事例を市内で公開するなど、還元方法について改善していきたい。 ○ 学力向上プラン検討会では、できるだけ多くの教員が参加しやすい日程・内容を設定することが必要である。
----------------------------	---

〔事業名〕 「確かな学力」育成サポート事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員全体の指導力向上のため、本事業を工夫し継続して取り組んでいってほしい。 ・学力向上プランの検討、作成は教員の資質向上に寄与する。より多くの教員の参画を期待する。視察後の還元はまず自校でしっかり行った上で、紙上や授業公開を積極的に取り組まれない。 ・若くてパワーあふれる人材確保を望む。 ・研修先をよく吟味していただきたい。 ・「確かな学力」への取り組みにつながる本事業も重要である。できるだけ多くの教員が研修を受けることができるように進めてほしい。
----------------	--

番 号	1 2	主 管 課	学校教育課
事 業 名	小中一貫教育の推進事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	各中学校区ごとの連携推進を図るための研究に対する支援を行うことは、みすゞ学園内の研修をより深めるためには必須である。 長門市教育研究大会においては、各みすゞ学園の実践例や成果を発表することとしている。		
予 算 額 (決 算 額)	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 (当初)
	事業番号 8「長門市教育研究大会事業費」の中において計上	事業番号 8「長門市教育研究大会事業費」の中において計上	事業番号 8「長門市教育研究大会事業費」の中において計上
執 行 率	—	—	—
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市内 6 中学校ごとに連携推進を図る目的として、 ① 小中 9 年間を見通したカリキュラムの作成 ② 小学校教員による中学校での職場体験活動、授業 (T T※ ¹) ③ 中学校教員による小学校での出前授業 ④ 小学校児童による交流活動 (小小連携※ ²) ⑤ みすゞ学園要覧の作成 ⑥ 各種研修会の合同参加 等 の実施をしている。 みすゞ学園ごとに、「みすゞ学園要覧」を作成しており、その普及を図る目的で長門市教育委員会のホームページに掲載している。 また、他の「みすゞ学園要覧」を参考にしたり、各園の取組を検証したりしながら、加筆修正することとしている。 現在、算数・数学カリキュラムや地域連携カリキュラム、キャリア教育のカリキュラムを作成している。		
課 題 と 今 後 の 取 組	○ 年次ごとに「みすゞ学園要覧」の修正を行うとともに、その内容については、各園ごとによる話し合いを通して推進していきたい。 また、児童生徒のよい面や気になる点等、実情を話し合いながら今後の指導改善に役立てるようにする。 ○ 平成 2 8 年度末を目途に、現在、各みすゞ学園ごとに小中一貫カリキュラムを作成している。		

〔事業名〕 小中一貫教育の推進事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティ・スクールのあり方研究と連動させ、一層の研究充実に期待する。・みずゞ学園ごとの小中一貫カリキュラム作成にあたって、9年間の育ちの連続性を見据え、地域の特質を生かしたものとなることを期待している。・「教育研究大会」発表のための事業にならないように注意されたい。
------	--

※1 TT・・・ティーム・ティーチングの略。複数の教員による授業。

※2 小小連携・・・小学校間の連携。

番 号	13	主 管 課	学校教育課
事 業 名	研究指定校補助事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	各学校からの応募申請に基づき、本市教育推進にふさわしい研究に対して、研究指定を行う。 コミュニティ・スクール、学力向上、みすゞ教育（心の教育）、特別支援教育を視野に入れた研究課題を設定し、全ての領域において研究及び実践を推進し、その成果を本市小・中学校に広める。		
予 算 額 (決 算 額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度（当初）
	1,400,000円 (850,000円)	800,000円 (800,000円)	800,000円
執 行 率	60.7%	100.0%	
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	平成25年度：10校を指定 (1) 学力向上 【仙崎小・明倫小・神田小・向津具小】 【深川中・菱海中】 480千円 (2) みすゞ教育 【仙崎中・三隅中】 160千円 (3) 特別支援教育【深川小・油谷小】 160千円 指定校においては、研究主題を掲げた計画的実践が行われ、各学校の課題に応じた研修が行われた。その成果として、学力向上やみすゞ教育等各領域の推進につながった。 取組についての成果還元方策として、指定校の成果物である研究集録を市内各校に配付した。また、指定校によっては、公開研究会を開催し、参加者に成果を普及する取組がみられた。		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>全ての領域において研究が行われた。 各校の課題や児童生徒の実現状況を見極めながら、その研究課題に即した領域や予算額等を設定していく必要がある。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 研究指定校補助事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の学校に偏ることなく、本（補助）事業を有効活用して市内全校で特色ある学校づくりを進めていってほしい。 ・市として力点を注ぎたい内容を基本としつつ、各校の課題や児童生徒の実現状態を見極め、手を挙げた学校の課題に即した領域を設定されたい。
----------------	---

番 号	14	主 管 課	学校教育課
事 業 名	防災教育事業		
施 策 の 課 題	東日本大震災による被災地視察等を通した市内中学生の防災意識の高揚		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>市内各中学校から代表生徒（中学2年生）を募り、夏季休業中の3日間で被災地視察や防災訓練参加等を行う。</p> <p>参加した中学生は、所属校で報告したり、近隣の小学校等で体験したことを話したりしながら、災害に強い町づくりに貢献する。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度（当初）
	2,798,000円 (2,426,873円)	2,054,000円 (1,536,481円)	1,955,000円
執 行 率	86.7%	74.8%	
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成25年度：平成25年8月7日（水）～8月9日（金）</p> <p><input type="checkbox"/>参加者 市内各中学校から中学2年生15名、中学校教員3名 防災危機管理課1名、学校教育課1名 【計15名】</p> <p><input type="checkbox"/>研修内容</p> <p>（1日目）南三陸町立歌津中学校での防災訓練参加、語り部聴講 （2日目）被災地視察、被災地でのボランティア参加、熟議 （3日目）被災地視察</p> <p>本事業は、平成24年度からスタートした。2回目の訪問であった平成25年度は、被災地視察やボランティア等での研修を通して学んだことを地元の人に伝えることをコンセプトに実施した。</p> <p>事後は、中学校だけでなく近隣の小学生にも視察して学んだことを報告した。また、昨年12月には、「防災に強い町づくりにするために」というテーマで中学生による熟議を行い、本市への提言を行った。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>○ 3回目の訪問となる平成26年度は、「各みすゞ学園でできる防災体制づくり」を中心に組みたい。そのために、視察前の事前研修から参加生徒に目的をしっかり把握させるとともに、今後、体制づくりについても、各みすゞ学園内で調整しながら、中・長期的な計画を立てていく。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 防災教育事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみの防災教育という観点からも、改善・充実を図ってもらいたい。 ・小学生への報告、中学生による熟議や市への提言など事後の取組が本事業をより価値あるものになっている。 ・現地視察は継続していただきたい。 ・防災教育は重要。子どもたちが自分で考え行動できる防災意識が持てるように継続し推進してほしい。
----------------	---

番 号	15	主 管 課	学校教育課
事 業 名	国際交流（海外派遣）事業		
施 策 の 課 題	実践的な英語のコミュニケーション能力の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>グローバル化する社会において、英語でのコミュニケーション能力が重要度を増していることに鑑み、基礎から一歩進んだ実践的な英語のコミュニケーション能力を養う場を提供するため、市内中学生を派遣する。</p>		
予 算 額 (決算額)		平成25年度	平成26年度（当初）
		1,314,000円 (1,297,600円)	1,478,000円
執行率		98.8%	
評 価 (取組状況及び成果等)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成25年度：応募生徒 23名 派遣人数2名（中学3年生1名、中学2年生1名） <input type="checkbox"/>研修先 カナダ（バンクーバー） <input type="checkbox"/>研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語研修…夏休み中のフレージャー大学を研修場所として、国際クラスごとに分かれて英語のレッスンを行う。 ・アクティビティ …カヤックやマウンテンバイク等世界共通のスポーツ等を通して、世界各国から参加している友だちと交流を深める。 <p><input type="checkbox"/>日程 平成25年7月21日～8月5日 参加した生徒2名による事後の評価は、派遣先、研修内容等最高評価をつけており、この機会を日頃の学習に活かしたいと考えている。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>○ 中学生を派遣するため、安全面や研修内容、時期等は特に考えていく必要がある。</p> <p>また、部活動があるため、参加しにくい生徒もいるのが実情であり、本事業の価値づけをしっかりと各校へ知らせながら、日程等についても検討していきたい。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 国際交流（海外派遣）事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての中学校から応募があるよう、学校や教職員の意識改革が必要かも知れない。 ・実践的な英語によるコミュニケーション能力の育成に資するよう、派遣生徒の体験を広く伝える場の設定や日常の授業の工夫を期待する。 ・体験者の成果を「ほっちゃTV」等で広報してほしい。 ・良い事業なので、理解を深めてもらい、多くの中学生にチャンスを与えてほしい。 ・できるだけ多くの学校の生徒がエントリーできるような工夫が必要。
----------------	--

番 号	16	主 管 課	学校教育課
事 業 名	金子みすゞ児童作品コンクール事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>金子みすゞの温かいまなざしと豊かな感性を育む教育の推進に取り組む中で、子どもたちの心を表現する場として、「金子みすゞ児童作品コンクール」を設けている。市内の小学生を対象に、郷土の童謡作家「金子みすゞ」の作品を読み、感想文や感想画及び自由詩として表現された作品を募集し審査会を開催している。全児童数の2割程度の応募作品数を目標とし、優秀な作品については、表彰するとともに、多くの児童が作品にふれられるよう優秀作品集を作成する。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	397,774円 (397,774円)	359,000円 (345,253円)	362,000円
執行率	100.0%	96.2%	
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>本市では金子みすゞの温かいまなざしと豊かな感性を大切にした教育を推進しており、その年にあった詩を6点選んで課題詩として取り組んでいる。各校においては「みすゞ読本」等の活用により、月ごとに詩を朗唱したり、いつでも目に触れるように掲示したりしながら、実態に応じた取組を行っている。また、本コンクールに対する保護者の関心も高く、夏季休業中に制作した優れた作品が多く出品されている。本事業がみすゞ教育推進の一助となっている。</p> <p>平成25年度作品応募総数325点(感想文38、感想画82、自由詩205) ・最優秀賞 11点 ・優秀賞 29点 ・入選 50点</p> <p>作品集を作成し、子どもたちの温かいまなざしと豊かな感性を形にして残すと同時に、市内小・中学校等に配布し、作品のよさを広めている。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>郷土に根ざした教育の推進に係る事業の一つとして、本コンクールをぜひとも継続・発展させていきたい。みすゞ教育推進の拡充のために、専門家である金子みすゞ記念館学芸員及びみすゞ教育に力を注がれている小学校教員の協力をいただきながら、子どもたちにとって身近で取り組みやすい課題詩を選び、より多くの児童が参加できるようにしていきたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 金子みすゞ児童作品コンクール事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長門の誇りであるみすゞさんに学ぶ教育の推進に全力で取り組んでもらいたい。大いなる期待をもっている。 ・本市教育の特色ある事業の一つである。優れた作品が多く出品される中、感想文応募数の減少は寂しい。みすゞ教育の更なる推進を期待する。 ・児童が作った「作品」は素晴らしく、それをもっと多くの方へ知ってもらえるような工夫ができないか。また市内に留まらず、県内の学校へも募集を呼びかけるなど、広げることができないか。
----------------	---

番 号	17	主 管 課	学校教育課
事 業 名	教育支援センター事業		
施 策 の 課 題	規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>社会情勢が急激に変化する中で、本市においても、心に悩みを抱えている児童生徒や不登校の児童生徒が増加傾向にある。そこで、教育委員会内に設置された「教育支援センター」で教育相談員等が電話や来所、訪問による相談にできる限り対応するとともに、不登校児童生徒・保護者・教職員への教育支援活動を行う。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	5,550,099円 (5,423,446円)	5,864,000円 (5,664,731円)	5,797,000円
執 行 率	97.7%	96.6%	
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>「教育支援センター」の相談対応の年間延べ件数は256件(電話対応も含む)で、通室児童生徒の支援や保護者・教職員の相談対応にニーズが増していることがうかがえる。市委嘱のスクールカウンセラーとの連携により、学校への復帰、高校進学ができた生徒の増加等の実績として現れており、センターへの信頼は増している。</p> <p>不登校児童生徒 平成24年度 小学校5人、中学校25人 平成25年度 小学校2人、中学校23人</p> <p>不登校、ひきこもり状態から通所できるようになった生徒9名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通室により学校への登校ができるようになった生徒8名 ・通室により高校進学に至った生徒7名 (公立・私立高校5名、通信制高校2名) 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>学校と家庭・関係機関との連携を一層図り、個々のニーズに対応できる支援体制を構築していくことが求められる。具体的には、各校の教員はもとよりスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども未来室などとのネットワークの構築を進めていきたい。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 教育支援センター事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談者や通所生徒への適切かつ親身な対応で進学面など着実に成果が上がっている。 ・実績が現れており高く評価できる。困難な事業であるが、ネットワークの構築を速やかに進めてほしい。 ・支援センターの役割は重要。今後も継続されたい。
----------------	---

番 号	18	主 管 課	学校教育課
事 業 名	いじめ問題に係る教育相談事業		
施 策 の 課 題	規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>深刻化しているいじめ問題や不登校問題等の解決に向け、あらゆる諸機関で解決に向けて努力しているが、本市においても、いじめ問題や不登校問題は現存している。そのため、市としてこれを重要課題として位置付け、教育相談員（臨床心理士）1名を配置して、児童生徒や保護者・教職員の相談にあたり、各事例の改善を図る。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度（当初）
	828,901円 (826,229円)	1,035,764円 (1,001,764円)	840,000円
執 行 率	99.7%	96.7%	
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>教育相談員が、子どもの心の問題や親の悩み等の解決にあたり、個々の対応で児童生徒及び保護者の心の安定が図られた事例も多い。特に、発達障害にかかる不登校に関する親の相談等、専門的な知見からの助言は効果的である。</p> <p>以下に示す相談対応件数以外にも電話での相談や問い合わせが多い中、長門市教育支援センターとの連携を図り、的確な助言により、学校の組織的な対応に貢献している。</p> <p>また、肉親の突然の喪失、DVなど緊急を要する事案にも早急な対応ができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応件数 75件（平成24年度 67回） ・学校訪問相談 3回（平成24年度 3回） ・教育支援センター会議 6回（平成24年度 6回） 		

<p>課題と今後の取組</p>	<p>人間関係づくりに困難が見られる児童生徒が増え、発達障害に起因する事案や家庭環境により解決に時間を要す事案が増加傾向にある。継続的に個別対応に必要な児童生徒・保護者のニーズは増加傾向にあり、今後も教育相談員（臨床心理士）の配置が是非必要だと考える。学校の組織的な対応を促進していく意味からも、スクールソーシャルワーカーとの連携による支援体制を整えていきたい。</p>
-----------------	---

〔事業名〕 いじめ問題に係る教育相談事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士による教育相談は当該の児童生徒、保護者、教員の大きな支えになっている。幅広い支援態勢づくりを進めてもらいたい。 ・困り感を抱えた児童や生徒、保護者や学校にとって臨床心理士の存在は大きい。学校や保護者とともに問題に向き合い前進する際の大きな力となっている。継続、拡大を強く望む。 ・一層の支援体制の充実を望む。 ・臨床心理士の存在は必要。相談対応件数が増加傾向にある以上、継続よりも拡充の方で考えてほしい。
-------------	---

番 号	19	主 管 課	学校教育課
事 業 名	特別支援教育の充実事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>センター校（萩総合支援学校）やサブセンター校（仙崎小学校）の地域コーディネーターが幼稚園・保育園や小・中学校を巡回訪問したり、発達検査や教育相談を実施したりするとともに、教職員を対象とした発達検査研修会や校内コーディネーター・特別支援補助教員を対象とした研修会を実施するなど、研修の充実を図る。また、市内年中児を対象として年2回長門市独自の「5歳児すこやか相談会」を実施し、県内トップクラスのきめ細かな体制を構築し、早期支援につなげていく。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	281,500円 (257,830円)	413,000円 (345,100円)	334,000円
執行率	91.6%	83.6%	
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>特別な支援を要する園児児童生徒が増加する中、地域コーディネーターによる訪問による支援は各園・各校にとって必要不可欠である。</p> <p>《長門市幼保特別支援教育研修会》</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数 20名（幼保教員 14名 関係機関 6名） <p>《長門市特別支援教育補助教員研修会》 平成24年8月3日</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数 28人（小学校22名 中学校6名） 内 容 情報交換、講話（地域コーディネーター） <p>《地域コーディネーターの活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サブセンター校（仙崎小学校）のコーディネーターの現況 <ul style="list-style-type: none"> 訪問による相談件数（本人・保護者・教員） 88件 研修会講師（市教委主催研修会及び校内研修会） 20件 ○センター校（萩総合支援学校）のコーディネーターの現況 <ul style="list-style-type: none"> 発達検査及び相談（幼稚園・保育園・小学校・中学校）79件 <p>5歳児すこやか相談会では、多くの相談希望があり、そのニーズに応じて助言や対応を行うことができた。</p> <p>《第1回5歳児すこやか相談会》8/29 4名 9/5 6名 10/3 5名 《第2回5歳児すこやか相談会》2/13 2名</p> <p>※ 昨年度も希望者が多かったため第1回目は3回に分けて実施した。丁寧な対応と保護者の方の要望に応じていくために、1日に相談できる人数を6名以内に調整して対応している。</p> <p>《保護者の声》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学に関して少し不安であったが、早期に専門の先生方に相談することができ安心することができた。このつながりを大切にしたい。 		

<p>課題と今後の取組</p>	<p>5歳児すこやか相談会は、6年目を迎え定着している。保護者が気軽に相談できるように園からの声かけを丁寧に行ってもらい、必要に応じた適切な支援につながるようにしていきたい。また、地域コーディネーターを中心に個別の教育支援計画の作成を通して、相談支援の充実と相談後のフォローアップに一層努め、各小・中学校における校内コーディネーターを中心とした支援体制を強化していきたい。また、地域コーディネーターの育成をめざして、校内コーディネーターの研修も充実させていきたい。</p>
-----------------	--

〔事業名〕 特別支援教育充実事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長門みすゞ学園教育を支える大切な事業である。今後もきめの細かい取組をお願いしたい。 ・早期発見、早期支援に資する5歳児すこやか相談会の定着は関係者のきめ細かい対応の賜物であろう。本市のサブセンター校は1校のみであり、学校や保護者のニーズに全て応えるために、サブセンター校の増設や地域コーディネーターの増員を検討していただきたい。 ・引き続き推進してほしい事業である。予算がもう少しあってもよいと思う。 ・重要な事業と認識している。
-------------	---

番 号	20	主 管 課	学校教育課
事 業 名	就学指導委員会事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>学校教育法施行令第18条の2（保護者等の意見聴取）に基づき、長門市就学指導委員会を設置している。教育学、医学、心理学、その他の就学に関する専門的知識を有する者等、教育委員会が委嘱した15人以内の委員をもって組織し、過半数以上の出席で年に5月、11月、1月の3回実施する。専門家の意見をもとに、児童・生徒のよりよい就学につなげていく。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	200,000円 (119,540円)	199,000円 (176,920円)	199,000円
執 行 率	59.8%	88.9%	
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>25年度は、就学指導委員会を3回開催している。配慮を要する児童生徒数が増加しているが、適正な就学に資するため専門的な立場から検討に時間をかけて慎重な審議をさせていただいている。</p> <p>特に次年度の就学に関わる第2回目の就学指導委員会はかなりの時間を要するが丁寧に協議いただいている。3学期にも新規に次年度の就学にかかわる児童・生徒の協議を重ねており、3回は確実に必要となる。</p> <p>《要検討児童生徒数》 ※平成24年度 49人 平成25年度 64人 (第1回 5/26 2名) (第2回 11/17 49名) (第3回 1/19 19名)</p> <p>学校や保護者の急な要望にも対応することで、児童・生徒にとって適正な就学につながっている。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>今後も、一人ひとりの障害の種類や程度等に適した教育の場について慎重に審議するためには、教育学、医学、心理学等に関して学識経験を有する者で委員会を組織し、現在の委員数 15 人は必要である。要検討児童生徒数の増加及びきめ細かな就学指導をするためにも、今後も委員会の開催は年 3 回以上必要であり、継続して取り組んでいきたい。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 就学指導委員会

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要検討児童生徒数が増加する中、丁寧な協議が行われている。必要に応じて回数を増やし、きめ細かな対応を望む。 ・ 継続して取り組んでいただきたい。 ・ 要検討児童生徒数は増加傾向なので、継続実施が必要である。
----------------	--

番 号	21	主 管 課	学校教育課
事 業 名	夏季教育研修講座事業		
施 策 の 課 題	特別なニーズに対応した教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>「生きる力」、「心の教育」、「特色ある学校づくり」など、教育の質的転換が求められている今日、各界で活躍されている先達の生き方や考え方、実践などに直接ふれる機会をもつことができるようにする。夏季休業中に、講師を招聘して4つないし5つの研修講座を設け、教職員の研修の場とする。その年の本市の「教育的な課題」について示唆していただける講座にすることにより、早期の課題解決に向けての取組になっている。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	150,000円 (56,644円)	142,000円 (64,364円)	95,000円
執 行 率	37.8%	45.3%	
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>2日間の講座選択という日程で設定した。教職員のアンケート結果では、タイムリーな内容であり、実践に役立ち、充実した講座であったと全体評価も高かった。また、昨年度は、2つの講座において、一般の方や保護者も参加できるようにし、教養を広めることができる講座とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アルコール依存症の危険性」 講師 佐野 佐恵美 長門健康福祉センター主査 80名参加 ・「通常の学級における発達障害のある子どもへの支援のあり方」 講師 清水 直志 周南市立徳山小学校教頭 85名参加 ・「運動・部活動～子どもへの指導の仕方の基礎・基本～」 講師 平野 忠彦 徳山大学女子駅伝部監督 92名参加 ・「クラスの全員が書きたくなる指導の工夫」 講師 濱田 康助 兵庫県尼崎市立武庫小学校校長 73名参加 <p>《参加者の声》現在の子どもの実態にあった内容で充実している。</p> <p>※執行率が低いのは、講師の多くを謝金の伴わない方に依頼したことによる。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>本市学校教育の目指す姿や、教育の今日的課題、ニーズに関連した講座内容にしていきたい。長門市教育委員会が重点的に取り組んでいるコミュニティ・スクールや特別支援教育に関する内容を重視し、教職員が興味をもって参加できる講座の内容とする。また、教職員の要望により講座を設定することができるようにアンケート等も活用していきたい。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 特別なニーズに対応した教育の推進

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケートを活かす取組は評価できる。 ・教育の今日的課題や教職員の抱えている課題等が取り入れられ、実践に役立つ充実した講座となっている。 ・一般の方や保護者も参加できるようになったことは大変高く評価できる。 ・教職員が積極的に参加したくなる内容での継続を望む。
----------------	---

番 号	22	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	成人式開催事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	市として新成人のお祝いをする。 【期 日】平成26年1月3日（金） 【会 場】ルネッサながと 【対象者】421人（H5.4.2～H6.4.1）・出席者341人 【内 容】式典、アトラクション、記念撮影、メッセージボード 【目 標】社会人としての自覚を促すとともに長門市に愛着を持ってもらう。		
予 算 額 （決算額）	平成24年度	平成25年度	平成26年度（当初）
	1,191,000円 (951,769円)	1,099,000円 (993,387円)	1,111,000円
執 行 率	79.9%	90.4%	
評 価 （取組状況及び成果等）	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	実施後のアンケートは次のとおり 各項目を点数により評価（満点100点） 式典について65点 新成人から見た長門の姿について65点 お楽しみ抽選会63点 ミニライブについて68点 ロビーでの催し63点 新宅由貴子さんのミニライブ及び市内事業所より提供していただいた 景品による抽選会の実施、ロビーにメッセージボードを設置したところ、 7割近い評価を得た。		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>アトラクションに新宅由貴子さんのミニライブを行うことで一体感のあるイベントにはなったが、抽選会の進行方法等スムーズに行えるよう検討していきたい。</p> <p>また、同時に行った成人式の開催日時及び午後開催（現行午前開催）のアンケートについては、意見をいただいた方の約半数以上が、現状でよいとの意見であったので、現状での開催としたい。</p> <p>アンケート結果</p> <p>〔 1月3日開催について、「よい」173 「遅い」2 「早い」29 午後開催について、「良いと思う」67 「遅い」115 「早い」7 〕</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 成人式開催事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長門市民としての自覚を高め、社会貢献を意識する意義深い事業である。 ・新成人の出席率の高さに、成人式への若者の期待がうかがえる。今後も成人の喜びを味わうとともに、社会人としての自覚や社会貢献の意欲を育む企画を期待している。 ・出席率80%以上で、評価できる。 ・「成人式は地元で」と思わせる重要な事業である。「就職も地元で」と思ってもらえるような取り組みも工夫できないか。
----------------	--

番 号	23	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	公民館指定管理事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	地域住民に公民館の管理・運営を委託する。 【管理団体】 俵山地区発展促進協議会 【委託期間】 H24. 4. 1～H27. 3. 31 【目 的】 地域住民による公民館を中心とした社会教育の充実と地域の活性化		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	10,438,000円 (10,438,000円)	10,501,000円 (10,501,000円)	11,256,000円
執 行 率	100.0%	100.0%	
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	俵山公民館における利用者数は、平成25年度は6千人を超え、学習拠点としての役割やNPO法人ゆうゆうグリーンと連携した地域づくり事業により、地域の拠点として重要な役割を担っている。 また、俵山地区以外の公民館関係者(職員・公民館企画運営委員等)による視察等を受け入れ、地域づくり活動を展開していく中での公民館のあり方、関わり方についての情報交換を行うことができた。		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>地域課題の解決に繋がる公民館活動を展開する上で、リーダーやコーディネーターの人材育成が必要であるため、引き続き各種研修会への参加や開催に取り組む。</p> <p>俵山地区以外については、情報収集及び地域の状況の把握を行っている。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 公民館指定管理事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO法人の活動が活発な地区として、取組を評価する。 ・ 俵山の取り組みは素晴らしく、他の地区にも広まってほしい。 ・ 実際の状況が把握できず評価が困難なため、現地で指定管理団体から説明を受ける等の機会があるとよい。
----------------	--

番 号	24	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	図書館の充実事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書等資料の充実 ・ 子どもの読書活動推進 ・ 音楽、映画、講演会等の各種事業の実施 【目標】 図書館の利用促進と図書館機能の向上		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	8,293,000円 (8,246,834円)	8,290,000円 (8,271,256円)	8,794,000円
執 行 率	99.4%	99.8%	
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>○図書等資料の収集は、司書の選書、利用者からのリクエストに応じた資料の収集および他館からの借受けなどを迅速かつ的確に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出数 210,589点(個人・団体等全館計) <p>○ボランティアによる読み聞かせ出前サービスは、回数、派遣人員、参加者数ともに前年度実績をやや下回っているが、安定した利用度があり、出向くことによる図書館利用の促進に寄与している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣先 20(19)カ所、出前回数 235(246)回、派遣人員 275(288)人 参加者数 3,963(4,179)人 ※()内は前年度数値 <p>○以下イベント等は継続されてきたものであるが、人員・予算とも限られた枠内において、魅力ある図書館の創出に向けて効果的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館コンサート2回 ・ 映画上映 20作品 ・ 図書館まつり 1回 ・ BGMを流す <p>以上の取り組みにより、図書資料貸出の充実はもとより、それ以外の図書館の機能を知ってもらえ、図書館に対して興味を持っていただくきっかけになっていると思われる。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>図書館サービスに対する市民ニーズの多様化とともに、職員の更なる意識改革、資質向上等が求められる。</p> <p>人口減少に伴い利用者が減少傾向にある中、図書館に何が求められているのかを検証し、事業の継続又は見直し等を検討するとともに、図書等資料やレファレンスサービスを充実させ、居心地の良い施設空間となるよう環境整備に努める。</p> <p>また、26年度においては、国庫補助事業の「読み聞かせ」に関する講習会、講演会を実施することとしており、利用者の拡大、図書館の活動を広く市民に認識してもらうこと等が期待できる。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 図書館の充実事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報センターとして、新たな取り組みにもチャレンジしてほしい。 ・魅力ある図書館創出のため様々なイベントが工夫されている。限られた予算、人員の中でできる限りの図書館資料や施設整備の充実を図っていただきたい。 ・人口減により図書館の図書の重要性が高まっている。イベント等を増やし図書館利用者を開拓してほしい。 ・現代はインターネットからの情報だけで判断しがちだが、内容の信憑性を熟慮された「図書」の活用を呼びかける必要がある。図書館事業はそのまま市の「知性」の象徴のように思う。常に充実継続を願う。
----------------	--

番 号	25	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	婦人団体活動支援事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>長門市連合婦人会の活動を財政的及び事務的に補助・支援する。女性の立場からの様々な行政課題の解決に向けた活動を側面から支援する。</p> <p>【目 標】地域婦人会の連絡提携と女性の教養・文化・体育の向上</p>		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	716,000円 (716,000円)	716,000円 (716,000円)	716,000円
執 行 率	100.0%	100.0%	
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>婦人会は、市の諮問機関や実行委員会など多くの任意団体に構成員として求められ、女性の視点や立場を代表する市の主要団体として位置づけられており、市の社会教育関係団体の顔として、生涯学習の推進をはじめ、行政計画の策定など様々な場面で大きな貢献を果たされている。</p> <p>長門市連合婦人会補助金 716,000円 平成25年度会員数 536人(油谷293人、仙崎221人、俵山22人) 会員ひとりの年会費 油谷400円、仙崎500円、俵山500円</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>婦人会組織が全地区にないこと、高齢化により年々会員数が減少していることは大きな課題であるが、市の主要団体としての活動をこれからも支援していきたい。</p> <p>将来的には、補助金額等について検討していく。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 婦人団体活動支援事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリな事業にならぬようにお願いしたい。 ・会員数の今後の推移を注視しつつ、連合婦人会の存在意義について再考していきたい。 ・既存の婦人会の必要性は確実にある。行政の支援は継続すべきである。
----------------	---

番 号	26	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	青少年健全育成団体支援事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>青少年健全育成団体への活動費及び活動の補助・支援や事務業務の支援を行う。各団体の運営については各団体が自主性を持って行なわれているが、専門的な問題や行政課題に関する問題については側面から支援するとともに、市と連携して取り組む。</p> <p>【目 標】青少年健全育成の推進</p>		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	638,000円 (638,000円)	638,000円 (638,000円)	638,000円
執 行 率	100.0%	100.0%	
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>子ども会育成連絡協議会、青少年育成市民会議の事務については囑託の社会教育指導員を配置し、支援していることで、団体の健全な運営が確保できている。</p> <p>また、団体事務局を教育委員会生涯学習スポーツ振興課に置くことで市と連携し円滑な事務執行ができています。</p> <p>子ども会育成連絡協議会補助金 176,000円 青少年育成市民会議補助金 261,000円 長門市PTA連合会補助金 151,000円 ガールスカウト活動費補助金 50,000円</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>側面的な支援と市との連携を推進することで、青少年育成団体の活動が円滑に実施されるよう取り組む。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 青少年健全育成団体支援事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリな事業にならぬようにお願いしたい。 ・社会教育指導員の支援や補助金を受けて各団体の活動が行われている。市と連携しながら引き続き活性化を図っていただきたい。 ・行政の支援が必要な事業であるので、継続していただきたい。 ・支援が必要なのは理解できるが、補助金額の根拠はどこにあるのか。
----------------	--

番 号	27	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人権教育講座開設事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>市民を対象に人権教育を推進するための講座を開設する。</p> <p>H25. 7 第1回人権教育セミナー ラポールゆや 参加者 約130人</p> <p>H25. 8 第2回人権教育セミナー 三隅公民館 参加者 約28人</p> <p>H25. 12 第3回人権教育セミナー 日置農村環境改善センター 参加者 約150人</p> <p>【目 標】人権意識の向上や人権についての啓発・啓蒙</p>		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	348,000円 (268,410円)	353,000円 (165,529円)	339,000円
執 行 率	77.1%	46.9%	
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>各講座とも人権教育推進委員主導で講座が開かれており、実施後のアンケートによると「とてもよい」「よい」が第1回、第3回は90%を超えている(第1回93% 第3回97%)。第2回については「同和問題」をテーマに行ったが、「とてもよい」「よい」が79%となっており資料不足等を指摘された。</p> <p>事業費は、講師を県職員に依頼したことなどにより、報償費、費用弁償等が当初見込みを下回ったために執行率が低下したが、全体としては、いずれも参加者の過半数以上から研修内容について高い評価を得ており、市民の人権意識の向上や啓発・啓蒙につながったと思われる。</p>		

<p>課題と今後の取組</p>	<p>各講座とも人権教育推進委員主導で講座が開かれているが、より多くの方に参加していただけるよう、家庭教育学級等の研修の一環として連携して開催するなど、実施方法を検討していきたい。</p> <p>また、ほっちゃんテレビを活用した啓発活動や番組の制作については、より分かりやすく親しみやすい啓発となるよう今後も継続していく。</p>
-----------------	---

〔事業名〕 人権教育講座開設事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進委員主導で講座が開かれているところがよい。 ・人権教育セミナーは、継続することこそ大切だと思う。 ・人権学習は継続が必要な事業。個別の人権意識が問われる内容での継続を望む。
-------------	---

番 号	28	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人権教育啓発推進事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>人権問題についての認識を深めるため、市民を対象に講演会を開催する。</p> <p>【期 日】平成25年10月14日（月・祝）</p> <p>【会 場】長門市中央公民館</p> <p>【対象者】一般市民 約180人</p> <p>【内 容】子どものために手をつなぐ ～保護者と学校そして地域のいい関係づくりへ～</p> <p>講師 大阪大学大学院 小野田正利 教授</p> <p>【目 標】人権意識の向上や人権についての啓発・啓蒙</p>		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度（当初）
	194,000円 (191,411円)	413,000円 (235,928円)	390,000円
執 行 率	98.7%	57.1%	
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>実施後のアンケート（回収率59.4%）によると、「とても満足」36.4%、「満足」50.5%と高い評価をいただいた。</p> <p>人権教育講座開設事業と同様に、人権教育推進委員主導で講演会が開かれており、充実した内容となっている。</p>		

<p>課題と今後の取組</p>	<p>講演会の内容はアンケート結果にあるとおり高い評価をいただいているが、講演会当日に他のイベントと重なったこともあり、参加者数が少なく大変悔やまれる結果となった。今後は、人権週間に合わせた12月開催とし、フェスティバルの定着化を図り、多くの方に参加いただけるよう取り組んでいく。</p>
-----------------	--

〔事業名〕 人権教育啓発推進事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント当日の日程調整など行政内部の連携も、市民の人権意識向上に大切なことである。 ・「地域で子どもを育てる」という今日的切り口から課題に迫る内容で成果が上がっている。 ・人権学習は継続が必要な事業。個別の人権意識が問われる内容での継続を望む。
-------------	---

番 号	29	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課	
事 業 名	我がまちスポーツ推進事業			
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実			
区 分	■継続		□新規	□完了
事業の概要 及び目標	山口国体の開催競技を「我がまちスポーツ」として地域に根付かせ、 推進を図るため、スポーツ関係団体等と連携しながら、「我がまちスポー ツ」の定着・育成に向けた取組を行う。(平成24年度新規事業) 【目 標】スポーツの推進と地域づくりや地域の活性化に繋げる			
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)	
	11,050,000円 (10,432,020円)	11,050,000円 (10,637,320円)	11,080,000円	
執 行 率	94.4%	96.3%		
評 価 (取組状況 及び成果等)	■目標を上回る □目標どおり □目標を下回る			
	我がまちスポーツのラグビーの普及育成では、よりレベルの高い指導 者の確保や継続した指導体制を構築することで、大津緑洋高校ラグビー 部が男女とも全国大会へ出場することができた。また、中学校等の協力 により、体育授業でラグビーを取り入れ、平日の放課後には、試験的に 中学生クラブチームを運営するモデル事業にも着手した。			
	その他下表のとおり、本事業により市内外から多数の参加者があった。			
	補助団体名等	事 業 内 容	参加者数	決算額
	長門市ラグビー協会	タグラグビー祭	6,660	5,220,000
		トップアスリートラグビー教室		
		トップリーグ交流戦		
		タグラグビー教室		
		中学体育指導(ラグビー)		
		審判員等養成研修会		
放課後ラグビープログラム				
山口県ラグビー協会	全国大会県予選運営費補助	2,000	1,050,000	
長門市空手道連盟	西日本空手道親睦大会	1,000	300,000	
シーカヤック 実行委員会	シーカヤック教室	185	239,000	
	シーカヤックフェスティバル			
コンベンション協会	スポーツ合宿奨励金	2,500	3,700,000	
RWC招致活動(企画)	日本協会訪問旅費	55	128,320	
	合 計	12,400	10,637,320	

<p>課題と今後の取組</p>	<p>県が「我がまちスポーツ推進事業」の実施期間を平成24年度から3ヶ年としているところであり、事業の成果をまちづくりや市の活性化につなげるため、継続的に小・中学生競技者の確保に努めて行くとともに、指導者のコーチング能力を強化していく必要がある。</p>
-----------------	---

〔事業名〕 我がまちスポーツ推進事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ年の本事業を通して我がまちスポーツが根付くよう、しっかり取り組んでもらいたい。 ・レベルの高い指導体制を構築する一方で、より多くの子どもたちが「我がまちスポーツ」に親しみ、活躍できる環境づくりに力を注ぎ、競技人口の拡大を図っていただきたい。 ・地道な活動を通じて、成果は様々な所に出ている。継続して根付かせて行くことが必要である。
-------------	--

番 号	30	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	学校体育施設開放事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>地域住民のスポーツ活動の場として学校体育施設を開放し利用してもらうため、施設の改修や競技用具を整備する。</p> <p>【目 標】生涯スポーツの振興を図る。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	317,000円 (267,741円)	406,000円 (205,419円)	317,000円
執 行 率	84.5%	50.6%	
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>地域住民が気軽にスポーツに親しむため、市内の全小・中学校体育施設を開放しており、事業としての必要性は高い。</p> <p>利用団体の受付窓口となる公民館と学校の連携を密にし、また、利用調整会議等で利用団体との協議を行いながら、利用者が必要とする施設の改修や競技用具の整備に努めるとともに、施設が円滑に利用できるように取り組んでいる。</p> <p><決算内訳> 消耗品(競技消耗品・水銀灯・ワックス・モップ等) 143,469円 備品購入費(バレーボール審判台) 61,950円</p>		

<p>課題と 今後の取組</p>	<p>今後も、地域住民が気軽にスポーツに親しめる場として、学校体育施設開放事業を継続していく。</p> <p>また、地域住民が利用しやすいよう、利用団体のニーズや利用方法、利用時間等、学校体育施設の利用に関する情報を積極的に収集・把握し学校と連携し対応するとともに、利用団体や市民に情報を提供していく。</p>
----------------------	---

〔事業名〕 学校体育施設開放事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が気軽にスポーツを楽しめるよう、施設開放を継続し推進されたい。 ・地域住民の健康面からも必要性の高い事業であり、継続していただきたい。 ・利用者は多く、継続してほしい事業である。
-------------	--

番 号	31	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	ニュースポーツ等指導者研修事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>誰でも気軽に親しめ、楽しめるニュースポーツ等の普及・振興を図るため、研修会等に参加し、スポーツ指導者を育成する。また、地域住民のスポーツ振興を推進するため、総合型地域スポーツクラブを運営する人材を育成する。</p> <p>【目 標】市民が気軽にスポーツ等に取り組める環境（人的なもの含む）の整備・充実</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度（当初）
	52,000円 (10,400円)	52,000円 (18,200円)	52,000円
執 行 率	20.0%	35.0%	
評 価 (取 組 状 況) (及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>新規及び準備中の総合型地域スポーツクラブのクラブマネージャーを育成することで、適正なクラブの企画・運営、設立準備ができ、地域のスポーツの振興につながった。</p> <p>また、チャレンジ・ザ・ゲームについては、講習会に参加することで競技内容を理解し、適切な指導方法を身につけたことにより、市内で記録会を開催し、平成24年度に続き、市内のチームを平成25年度も全国上位ランキングに入賞させることができた。</p> <p>平成25年度研修会等</p> <p>クラブマネージャー養成講習会 3人</p> <p>チャレンジ・ザ・ゲーム講習会 7人</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>今後も、研修会等への参加者の確保に努め、指導者を育成することで市民へのスポーツ振興を図っていく。</p>		

〔事業名〕 ニュースポーツ等指導者研修事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">・各地域住民が気軽にスポーツを楽しめるよう、スポーツ指導者の活躍に期待する。・興味を持っている人が多い事業だと認識する。拡充のための指導員養成に力を入れてほしい。
------	--

番 号	32	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	スポーツ教室・健康医学講習会開催事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	各種スポーツ教室の開催 【目 標】市民が健康で豊かな生活を送るための機会を提供する。		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	581,000円 (226,800円)	468,000円 (229,000円)	563,000円
執 行 率	39.0%	48.9%	
評 価 (取組状況及び成果等)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市民が各種スポーツの基本を学び、スポーツに親しむ機会が増すことにより、健康の維持増進を図っている。 平成23年度から取り組んでいるチャレンジ・ザ・ゲームの普及・啓発を図るため、スポーツ推進委員会を中心に、子ども会やPTAの集会、スポーツ少年団事業などの各種イベントへ出向き、競技の講習や記録会を行ない、16種目中2種目で全国1位を記録した。 これまでに普及しているスポーツの推進だけでなく、運動が苦手な人や、体を動かすことが嫌いな人でも、グループでの交流を楽しみながら記録に挑戦するニュースポーツの推進を図っている。 また、平成25年度は、スポーツ推進委員の任期満了に伴う、委嘱替えがあり、県レクリエーション協会の協力による市単独のチャレンジ・ザ・ゲームの普及審判員研修を開催し、指導体制の強化を図った。 平成25年度 チャレンジ・ザ・ゲーム開催10回 平成25年度 普及審判員研修受講者17名		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>今後も、市民がスポーツに親しむ機会を増やすため、チャレンジ・ザ・ゲームの教室を開催していく。</p> <p>また、平成26年度は、高齢者も取り組みやすいニュースポーツの導入や長門市独自のニュースポーツの研究も予定しているところであり、より幅広い世代の多くの市民が参加できるようイベントを企画・検討していく。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 スポーツ教室・健康医学講習会開催事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが健康なまちづくりを目指し、本事業に期待したい。 ・チャレンジ・ザ・ゲームを中核として、市民のスポーツに親しむ機会を増進している。高齢者を含めた幅広い世代の市民が参加しやすいイベントの企画を期待する。 ・良い取り組みなので、指導者の育成に引き続き力を入れてほしい。 ・興味を持っている人が多い事業だと認識する。拡充のための指導員養成に力を入れてほしい。
----------------	--

番 号	33	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	長門市体育協会補助金事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	長門市体育協会の運営に対して財政的に補助する。 【目 標】 加盟団体の育成強化と市民の生涯スポーツ活動の推進。		
予 算 額 (決 算 額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	12,524,000円 (11,347,945円)	12,524,000円 (11,573,352円)	12,524,000円
執 行 率	90.6%	92.4%	
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	長門市体育協会は、市内のスポーツ競技団体が加盟する中核的なスポーツ団体であり、指導者育成研修会の開催をはじめ加盟団体の指導・育成、協会の自主事業として市民ハイキング、グラウンドゴルフ大会、市民スポーツフェスティバル、市民駅伝大会等の各種大会を開催し、市民のスポーツ振興、体力・競技力の向上を図っている。 <決算内訳> 支 出 事務局人件費 7,768,014円 事務費 1,444,131円 事業費 3,181,507円 計 12,393,652円－① 収 入 大会参加負担金等 820,300円－② 差 引 (①－②) 11,573,352円 を補助		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>今後も、市の中核的なスポーツ団体として、市民が多く参加できるスポーツ大会等の開催や、加盟競技団体の育成・指導、競技スポーツの強化を図る各種事業が円滑に行えるよう、財政的な支援を継続していく。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 長門市体育協会補助金事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリな事業にならぬようにお願いしたい。 ・より多くの市民が気軽に参加できる事業を企画するとともに、現行の事業についての点検、見直しも行っていただきたい。 ・生活圏における普及活動の必要性を感じる。(景色を眺めながらのウォーキング大会など…) ・毎年同じ大会を開催することも大切だが、新たな競技(リレーマラソン等)に取り組むなど、変化も必要だと思う。 ・内容が市民のニーズと合っているか点検しながら継続してほしい。
----------------	---

番 号	34	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	放課後子ども教室推進事業		
施 策 の 課 題	学校・家庭・地域の連携を強化し、学習成果を生かす協働の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>放課後の子どもの見守り、健全育成。</p> <p>【対 象】 小学1年生～6年生</p> <p>【実施校】 俵山小学校・神田小学校・向陽小学校・向津具小学校</p> <p>【目 標】 各放課後子ども教室の支援、今年度新設の向津具小放課後子ども教室の運営協力及び支援</p>		
予 算 額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	7,101,000円 (6,900,398円) ※俵山・神田・向陽・向津具	5,737,000円 (5,409,540円) ※俵山・神田・向陽・向津具	6,086,000円 ※俵山・神田・向陽・向津具
執 行 率	97.1%	94.3%	
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>市内の小規模校を対象とした「放課後の子どもの居場所づくり」として進めている。</p> <p>登録率は、俵山小 65.7%(23/35)、神田小 41.7%(10/24)、向陽小 74.1%(40/54)、向津具小 50.0%(16/32)となっており、多くの児童が放課後の居場所として子ども教室を活用している。</p> <p>また、各子ども教室にコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員を置き、研修を実施することで、安全安心面や教育面においてもより充実したものになるよう取り組んでいる。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>未実施校は通小1校であるが、平成27年度から放課後子ども教室を開設できるよう検討していく。</p> <p>また、登録者・参加者が増加していく中で、学習アドバイザーや安全管理員の確保と人材育成について支援していく。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 放課後子ども教室推進事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の課題対応のための研修会実施は評価できる。 ・小規模校では、学習後友だちと交流できる「子ども教室」が親子にとって安心な居場所となっている。学校、保護者との連携を図り安全安心な教室運営ができるよう支援を継続していただきたい。 ・重要な事業の一つであり、今後も継続が必要である。 ・今後ますますニーズが増える事業だと認識している。小規模校だけに留まらず、中・大規模校にも広げることが可能か検討してほしい。
----------------	--

番 号	35	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課	
事 業 名	文化財の保護・活用事業			
施 策 の 課 題	次世代への地域文化の継承			
区 分	■継続		□新規	□完了
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>ながと歴史民俗資料室及び日置歴史民俗資料館において、本市の埋蔵文化財や民俗資料、歴史資料等を常設展示している。</p> <p>また、ながと歴史民俗資料室においては、企画展を年2回、山口県埋蔵文化財センターの巡回展を毎年1回実施し、あわせて長門市文化財保護協力員の研修会を開催している。</p> <p>【目標】地域文化財の保存・管理と地域文化の伝承。</p>			
予 算 額 (決 算 額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)	
	1,718,693円 (1,334,746円)	1,420,000円 (1,416,240円)	1,420,000円	
執 行 率	77.7%	99.7%		
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	□目標を上回る ■目標どおり □目標を下回る			
	<p>ながと歴史民俗資料室は、昔の農具等の常設展示及び企画展を行っている。常設展では、向陽小、深川小、仙崎小の3年生が歴史授業の中で訪問し、昔の農業について展示品に触れながら学習している。また昨年度は展示スペースを深川小4年3組の総合学習の発表会場として貸出し、土日で100人ほどの入場者があった。企画展では、萩焼展を6・8月、10・12月の2回実施(会期中土日開館)し、合わせて400人以上の来館者があった。</p> <p>入館者：平成24年度905人 平成25年度912人</p> <p>また、日置歴史民俗資料館は、日頃改善センター職員により見学者への対応を行っており、年間約70名の入館者がある。展示については、旧日置町時代の民俗資料や歴史資料が常設展示してあり、ここでも主要な入館者は日置小学校児童である。今年度は、日置小の歴史授業で活用するため収蔵品を貸し出した。</p>			
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>歴史民俗資料の展示のために、現在旧1市3町で保存収蔵している資料を専門的に整理・分類・展示する体制(学芸員等の専門職員の配置を含む)が必要である。</p> <p>ながと歴史民俗資料室では今年度も企画展を2つと県巡回展を予定している。また、市内小中学校校長会で文化財保護室所管の4施設(ながと歴史民俗資料室、日置歴史民俗資料館、くじら資料館、村田清風記念館)と今年度企画展についての紹介文書を配布し、活用を案内した。</p>			

〔事業名〕 文化財の保護・活用事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">・長門の歴史や民俗資料に直接触れることは非常に大切な学びである。巡回展や企画展などでマイクロバス利用の支援があるとよい。・展示スペースを学習の発表会場に、といったアイデアは多くの入場者を呼び、関心を寄せるきっかけとなった。・せっかくの継続事業なので、歴史民俗資料室、また日置歴史民俗資料館の認知度アップを図ってほしい。
------	---

番号	36	主管課	生涯学習スポーツ振興課
事業名	地域文化の継承事業		
施策の課題	次世代への地域文化の継承		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>鯨及び漁村文化に係る民俗資料の保存及び展示を行うくじら資料館の運営、維持管理を行う。</p> <p>郷土の先賢である村田清風及び周布政之助の遺品と資料や、歴史民俗資料を展示する村田清風記念館の運営、維持管理を行う。</p> <p>【目標】くじら文化や村田清風の業績に対する理解を広げていくこと、地域文化財の保存・管理と地域文化の伝承。</p>		
予算額 (決算額)	平成24年度	平成25年度	平成26年度(当初)
	13,606,000円 (12,999,642円)	13,869,000円 (13,451,167円)	22,118,000円
執行率	95.5%	97.0%	
評価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>くじら資料館については、国指定有形民俗文化財である「長門の捕鯨用具」を保存・展示しており、要望があれば来館者に対する説明も行っている。</p> <p>平成24年度入館者数：11,929人 平成25年度入館者数：10,005人</p> <p>村田清風記念館については、村田清風及び周布政之助に関する遺品や資料等を保存・展示しており、要望があれば来館者に対する説明も行っている。</p> <p>平成24年度入館者数：3,697人 平成25年度入館者数：3,528人</p> <p>また、村田清風競書大会や古文書講座を開催し村田清風の偉業を周知・啓蒙する自主事業も実施している。</p> <p>競書大会参加者：平成24年度70人 平成25年度78人</p> <p>古文書講座参加者：平成24年度23人 平成25年度26人</p>		
課題と今後の取組	<p>展示や来館者に対する説明等については問題ないが、企画展の実施や展示物の調査研究など学芸員等の専門的な関わりが必要と感じている。それにより来館者増も図れるのではないかと考える。</p> <p>くじら資料館は通地区の観光の拠点という側面もあることから、観光ボランティアや向かいにある販売施設との連携などの検討も必要である。</p> <p>村田清風記念館は、来年1月から始まるNHK大河ドラマ「花燃ゆ」に関連し、楫取素彦と寿夫婦に係る資料を展示するミニ企画展開催について検討中である。また、明治維新150年(2018年)にあわせて県や山口市、萩市などが事業取組中で、本市としても何らかの取り組みを考える必要がある。</p>		

〔事業名〕 地域文化の継承事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">・長門の歴史や文化について、小中学生だけでなく高校生や一般市民も継続的、計画的に学んでいく機会があるとよい。・企画展や調査研究の実施には、学芸員等専門的関わりが必要である。村田清風の業績については、萩博物館との連携を図りアピールされることを期待する。・ありとあらゆる企画やイベント等と連携して露出を増やしてほしい。・地域文化の継承という意味では重要な事業。「花燃ゆ」も長門市としての関係性を明確にすべき。
------	---